

# スプリング・エフェメラル(春の植物)

～在来植物やチョウの保全をめざして～

「公園ができてから、数種類のチョウが見られなくなった！」というショッキングな指摘がきっかけでした。あづみの公園の里山文化ゾーンで公園の職員とボランティアで公園の草刈り管理などの見直しを行ってきて4年。様々な在来の植物が復活して、チョウの復活も実現しつつあり、去年は環境省の「自然共生サイト（民間の取組等によって生物多様性が図られている区域）」にも認定されました。

今回はその一部、早春の一時期しか咲かない魅力的な在来植物、スプリング・エフェメラル（春の妖精）を紹介します。春休み期間なので、子どもも大人も歓迎です！



カタクリ(準絶滅危惧種)



アマナ(準絶滅危惧種)



ヤマエンゴサク

## 話し手： 城戸 敦子 さん

神奈川県生まれ、大阪自然史博物館育ち。元京都市小学校教員。

2010年に安曇野市に移住。国営アルプスあづみの公園ボランティア10年以上。

豊科郷土博物館友の会植物調査部所属。安曇野オオルリシジミ保護対策会議参加。

安曇野市博物館協議会委員。

日時：令和8年4月2日(木) 午後1時30分～3時30分

場所：穂高会館第3会議室（安曇野市穂高5047）

参加費：500円（定員30名）

申し込み先：手塚 090-1883-6867（9:00～17:00）

またはこちらにアクセス→



### と〜くサロンとは…

月に一回集まって、年齢も性別も経歴も関係なく井戸端会議感覚で地域の方のお話を聞きましょう、という会です。気楽に参加いただきたいのですが、資料の準備の関係でできるだけ予約をお願いしております。

次回は… 5月14日(木) 13:30～

等々力秀和さん（安曇野案内人倶楽部会員）

です。